

【本日公募スタート】製作資金 1000 万円！

秋元康氏も審査参加

「ショートドラマ企画コンテスト」が受付開始

～SSFF & ASIA×日本直販×LIFE LOG BOX が贈る、
Web3 時代のクリエイター発掘プロジェクト～



米国アカデミー賞公認、アジア最大級の国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア（以下、SSFF & ASIA）」は、日本直販株式会社が手掛ける Web3 エンターテインメント「AYET プロジェクト」の一環として、本日 2026 年 7 月 10 日（金）より「日本直販プレゼンツ ショートドラマ企画コンテスト」の作品公募を LIFE LOG BOX にて、正式に開始いたしました。

URL <https://app.lifelogbox.com/event/festival/nihonchokuhanshortdramapitch>

本コンテストは、世界中からショートドラマの企画を募るピッチコンテストです。総合プロデューサー・秋元康氏が審査に携わり、選出された最優秀企画には製作資金 1,000 万円が提供されます。さらに、プロの編集者と共に作品完成を目指すことができる、未来の映像クリエイターにとって絶好のチャンスです。

■ 「ショートドラマ企画コンテスト」開催の背景

先月 6 月 10 日に開催された「SSFF & ASIA 2026 アワードセレモニー」にて、本コンテストの開催が電撃発表されました。ステージには日本直販の水谷彰孝代表取締役、AYET プロジェクトアンバサダーの佐々木久美さん、公式アンバサダーの「SHOW-WA」（青山隼さん・塩田将己さん）が登壇。

さらに、総合プロデューサーの秋元康氏もビデオメッセージを寄せ、「若い才能が映像制作に参加できる場を

創出し、多くの応募を待っている」と期待を語りました。本コンテストは、日本直販が制作資金を拠出し、オリジナル IP の世界的発信を目指す試みです。国際映画祭としての知見を持つ SSFF & ASIA と、web3 時代の動画運用プラットフォーム「LIFE LOG BOX」がタッグを組み、クリエイターが国際的に活躍できる仕組みを強力にサポートしてまいります。



SSFF & ASIA 2026 アワードセレモニーでの発表の様子

<https://www.youtube.com/live/t6I3yCnXm0U?si=-ridLThh5H8bEig3&t=9088>

■ 総合プロデューサー秋元康氏からの応援メッセージ

<https://youtu.be/Sum46Xq1EsA>

■ 応募概要

項目	内容
コンペティション名	日本直販プレゼンツ ショートドラマ企画コンテスト
応募期間	2026 年 7 月 10 日（金）～ 8 月 9 日（日）
テーマ・ジャンル	テーマ自由／ジャンル不問 （実写、CG、アニメーション、VR 作品など、あらゆる形式を歓迎します）
応募資格	日本国内・海外問わず、すべてのクリエイター（個人・チーム不問） 個人、法人、任意団体いずれもご応募いただけます。監督経験有無は問いません。
規定・言語	● 応募者やチームのオリジナル企画であること ● 日本語もしくは英語での応募に限る ● 生成 AI の利用は可能（ただし、利用箇所を応募フォームに必ず記載すること）

項目	内容
エントリー料	1 企画につき 5,000 円
結果発表	結果発表は 2026 年 12 月頃に映画祭ホームページ等で行う予定ですが、変更する場合がございます。

【応募必要事項】（※すべてを提出する必要はありません）

- 10 分以内の映像作品の絵コンテ、または脚本
- プロット（500 文字程度）
- 世界観のイメージ写真
- 一言で言うとどんな作品か？（ログライン）
- 過去作品のデモリールリンク / 応募者プロフィール（経歴やポートフォリオ）
- イメージした楽曲 など

■ 採択企画への豪華ベネフィット

1. 製作資金 **1,000 万円**のもと、プロ編集者と共に映像化します。※受賞者のショートドラマ製作への携わり方についてはご相談の上、決定します。受賞者がショートドラマの製作に携わらずに、日本直販株式会社が受賞者から企画買取となった場合の最低買取額は 100 万円となります。
2. 作品公開時に「企画原案者」としてのクレジット表記
3. 商業利益に応じた**ロイヤリティ（配分）の提供**
4. ブロックチェーン技術を活用した「参加証明書（VC : Verifiable Credentials）」の発行

■ スケジュール

7 月 10 日(金) 14:00 募集開始

8 月 9 日(日) 24:00 応募締切

結果発表は 2026 年 12 月頃に映画祭ホームページ等で行う予定ですが、変更する場合がございます。

■ 応募方法

LIFE LOG BOX 上にある応募専用フォーム

<https://app.lifelogbox.com/event/festival/nihonchokuhanshortdramapitch>

よりご応募ください。

■ SSFF & ASIA 代表 別所哲也よりコメント



私たちは米国アカデミー賞公認の国際短編映画祭として、シヨージ・ルーカス アワードを頂として、世界のショートフィルムをここ日本に集結させ、映像の未来地図を展覧して参りました。今回日本直販様との新しいプロジェクトにより、映像クリエイターのキャリア形成となるショートドラマ企画コンテストをスタートできることを大変嬉しく思っています。とりわけ WEB3、ブロックチェーン、トークンという革新的な仕組みを使いながら、私たちが展開する LIFE LOG BOX（ライフログボックス）とも連携し、映像クリエイターの可能性を拡張して参ります。グローバルに展開する AYET と秋元康さんの監修によるこのコンテストで、ショートフィルムを通じて、世界が日本に集結することを楽しみにしています。

【LIFE LOG BOX について】



国内外 10 万人以上のクリエイターとのネットワークを持つ SSFF & ASIA と連動した、スマートフォンや SNS、動画配信サービスなどの充実により、誰もがクリエイターとしてコンテンツを創作し発信できる web3 時代の動画運用プラットフォームです。データを預けストレージサービスを軸にクリエイターが活躍できるサービスを展開しています。世界中のクリエイターやファン、企業にクリエイター情報、作品情報を発信するポートフォリオや視聴権などを出品でき、クリエイターに利益を還元する NFT マーケットプレイスに預けたデータがつながります。

【ショートショート フィルムフェスティバル & アジア】

SHORTSHORTS



FILM FESTIVAL & ASIA

米国俳優協会（SAG）の会員でもある俳優 別所哲也が、米国で出会った「ショートフィルム」を、新しい映像ジャンルとして日本に紹介したいとの想いから 1999 年にアメリカン・ショート・ショートフィルムフェスティバル創立。2001 年には名称を「ショートショート フィルムフェスティバル（SSFF）」とし、2004 年に米国アカデミー賞公認映画祭に認定されました。

また同年、アジア発の新しい映像文化の発信・新進若手映像作家の育成を目的とし、「ショートショート フィルムフェスティバル アジア（SSFF ASIA 共催：東京都）」が誕生。現在は「SSFF & ASIA」を総称として映画祭を開催しています。

2018 年に映画祭が 20 周年を迎えたことを記念し、グランプリ作品はジョージ・ルーカス監督の名を冠した「ジョージ・ルーカス アワード」となりました。2019 年 1 月には、20 周年の記念イベントとして「ショートショート フィルムフェスティバル in ハリウッド」が行われ、また、2019 年の映画祭より、ライブアクション部門（インターナショナル、アジアインターナショナル、ジャパンの各カテゴリー）およびノンフィクション部門の各優秀賞 4 作品が、2022 年からはアニメーション部門の優秀賞を含む 5 作品が、翌年のアカデミー賞短編部門へのノミネート候補とされる権利を獲得しました。SSFF & ASIA は映画祭を通じて引き続き、若きクリエイターを応援してまいります。

【公式ウェブサイト】 <https://www.shortshorts.org>

【本件に関する問い合わせ】

ショートショート実行委員会 担当：田中

TEL：03-5474-8201 / FAX：03-5474-8202 / E-mail：press@shortshorts.org

使用可能スチルのダウンロードはこちら

https://drive.google.com/drive/folders/1ZmgOBVCiBE10s6Vln73TzaQG_cS1TS63?usp=sharing